

彙報

史学研究会

例会 九月二十七日(月)

《日清戦争の共同研究》

里井彦七郎「清国における主戦論者について」

西村 睦男「日清戦争前における海外市場について」

大会 十一月一日(土) 午前九時 京都大学

文学部第八教室

閉会の辞

公開講演

田村 実造「慶陵の壁面について」(幻燈使用)

桑原 武夫「歴史と文学」

総会 会務報告・評議員改選(巻末に掲載)

(午後部)

研究報告「日清戦争」共同研究

梅溪 昇「日本側よりみた日清戦争」

西村 睦男「産業革命と日清戦争」

姜 在彦「朝鮮側よりみた日清戦争」

北村 敬直「清国側よりみた日清戦争」

市川承八郎「日清戦争と欧洲列強」

閉会の辞

十一月二日(日) 一二時

見学・懇親会 大覚寺―釈迦堂―願離庵

―祇王寺―二尊院―落柿

會―野の宮―天龍寺。午後五時散會。

例会 十二月二〇日(土)

《共同研究「日清戦争」》批判討論會

例会 二月七日(土)

川口 博「百年戦争におけるフランス」

有光 教一「アメリカ考古学における年代測定法の発達」

京大国史関係

読史会例会 九月二十四日(水)

藤本 康彦「大内氏の発達とその基盤―国防衛領を中心として―」

戸祭 武「条約改正」

読史会例会 十月十一日(土)

坂田 庄司「薬師寺釈迦三尊像について」

大井重二郎「平城京の宅地班給と宅地割について」

ついで

村山 修一「慈恵大師の信仰について」

読史会例会 十月二十二日(水)

上横手雅敬「六波羅探題と執権政治」

宮川 満「封建制確立期に於ける檢地について」

読史会大会 十一月三日(月)

平林 一「高山樗牛の思想」

井ヶ田良治「幕末の抵抗―橋本景岳の場合―」

合

荒尾 利就「封建社会形成過程の農村樞造」

造

田中 勝蔵「原古の神視―『たま』と『ふら』」

ら

直木孝次郎「壬申の乱について」

柴田 実「郷里の念仏」

池内 義資「貞永式目について」

野田 只夫「封建社会に於ける雑色人の位置」

置

宮本 又久「加賀藩の織物業の展開―化政時代以後を中心として―」

岩井 忠熊「内村鑑三小論―そのナシヨナリズムと非戦論について―」

多田 伝三「阿波に於ける隠居制について」

多田 伝三「阿波に於ける隠居制について」

て」

田中 勝雄「近世歌舞伎俳優の経済的待遇」

て」

小栗田 淳「日本鉱業史上に及ぼせる西洋技術についての研究新考」

松本彦次郎「教行信証の研究新考」

読史会例会 十一月二十六日(水)

橋本 光隆「灘の酒造業について」

泉谷 康夫「菓子の変について」

壁上 荷「江戸時代の運輸」

読史会例会 十二月十三日(土)

中村 二柄「美術史学の対象」

上野 公「戦国初期における国人層の動向」

読史会例会 一月廿八日(水)

上田 正昭「あがたとあがためし」

読史会例会 二月十四日(土)

大月 明「蘭学史における二、三の問題」

山形 友郎「尾張における領主層」

京大東洋史関係

談話会例会 十月二十七日(月)

岩見 宏「均平銀について」

岡崎 敬「漢代の南海貿易—たいまいに

ついて—」

談話会大会 十一月三日(月)

谷川 道雄「唐代の職田経営について」

川勝 義雄「魏晋の軍隊について」

塚本 俊幸「中国における密教受容について」

田中 正俊「清初蘇州の字号経営をめぐつて」

村山 七郎「元朝秘史八思巴文字本原典説

に対する疑問」

波多野善大「日清戦争における北洋軍の成立」

野沢 豊「一二・九前後—抗日民族統一戦線の形成過程」

入矢 義高「宣和遣事について」

仁井田 陞「中国の家父長権力の構造」

談話会例会 十二月十八日(木)

兼子 利彦「三階教について」

笠沙 雅章「唐代禪宗の発展」

談話会例会 十二月廿四日(水)

狩野 直禎「巴蜀建國伝説について」

堀田 伊八「義和團事件」

平山 壮三「前漢時代の商工業」

衛藤 泰弘「唐代における蕃族系名族について」

大学院研究発表会 十月十八日(土)

横田 滋「隋末の叛乱について」

同 十一月十五日(土)

善峰 憲雄「黄巢の乱研究序論」

同 一月廿四日

笹本 重巳「明清時代の商業資本について」

京大西洋史関係

読史会例会 十月十五日(水)

松村 正樹 W. S. Blunt; Secret History of the English Occupation of Egypt.

杉村 和子 H. Wendel; Heinrich Heine. —Eine Lebens- und Zeitbild.

読史会例会 十月二十九日(水)

堀内 一徳 H. Aubin; Von Altertum zum Mittelalter.

並河喜代典 P. Balkanov; A principe periodizacchi i nachalnom periode istorii U. S. S. R. Karpalschicheskoi. B. Borisov; K. boprosu a formirovani Ka-

105

prähistorischeskavo uklada v promishlennosti.

読書会大会 十一月三日(月)

原 随園「はじめのことば」

浅香 正「古代イタリアにおける農業と奴隸制の問題」

中村賢二郎「領邦国家とシュテンダ」

宮本 健輔「一五二六年シュバイエル帝國議

会後の教会改革について」

S. B. Brown; Octavius as a Beneficiary of Caesar's Will.

田村 満穂「ギルドの崩壊と国家権力の問題」

本郷広太郎「初期ローマン派の政治思想」

山本 幹夫「南北戦争前夜における南部の問題」

山岸 義夫「南北戦争後の南部再建政策について」

阿部 健彦「帝國主義の一考察」

大野 真弓「絶対王政と議會」

井上 智勇「おわりのことば」

京大地理學關係

談話会大会 九月二〇日(土)

本地 節郎「アメリカの村落形態」
吉田 敬市「漁村調査法における地理学的諸問題」

談話会大会 十一月三日(月)

河野 通博「備後田島」

堀川 侃「町の大きさと機能」

河地 貫一「三重県の農業」

岡本 啓志「紀伊大島の研究」

川上喜代四「中国瀨戸内沿岸の高潮について」

柴田 孝男「関東地方の糸里」

浅井 辰郎「西南日本の気候的特長」

和田 俊二「メキシコ経済における労働力問題」

神尾 明正「先史地表面による編年への準備」

庄司 久孝「わたらの崩壊と転換」

藪内 芳彦「入漁権より見たる漁業権区設定に関する地理学的研究」

御子柴幸一「農業及びその生産構造の地域性について」

兼子 久雄「尼崎附近の歴史地理」

近藤 忠「平戸島のマゴメ地名について」

渡辺 茂蔵「旧庄内藩松ヶ岡開墾地の土地所有問題」

松本 博「高津川流路の変遷」

内田 秀雄「押箱工業について」

宮川 善造「地理学の理論について」

田中 秀作「株式会社経営の北海道開拓について」

京大考古學關係

考古學談話会 十月一日(火)学友会館

有光 教一「アメリカ考古学について」

人文科学研究所關係

講師交換講演会 十月二十八、九日(火・水)

江上 波夫「人類社会における農耕民型と遊牧民型」

開所記念講演並びに展覧 十一月十五日(土)

(講演)

岡崎 敬「殷代文化と青銅器の問題」

島田 虔次「良知説の展開」

(展覧) 六朝画像拓本